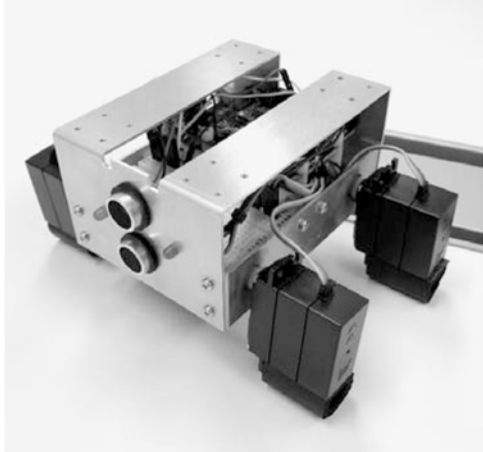


AI、ロボ事業参入

技術教育パッケージ提案

プログラミング・機能拡張で差別化 組み立て

エーアイエル（AI、東京都千代田区、入江雄介社長、03・3265・1357）は、ロボット事業に参入した。独自のプログラミング教育用ロボットを用い、組み立ての仕方やプログラム手法などを学べる技術教育パッケージを企業や自治体などの幅広い世代向けに提案する。代理店やパートナー企業と連携し国内で提案活動を進める考え。



機能の改造・拡張性がある教育用ロボット

教育用ロボット「AR-01」の特徴である拡張性により他のロボットと差別化する。AR-01は汎用部品で構成しており、ユーザーが自由に機能を追加したり改造したりしやすい。市販のセンサーと組み合わせ「手に持ったセンサーを傾けると動きだす」といった新

たな動きを加えられる。一般的な教育用ロボットは改造や拡張が難しいという。こうした特徴を生かして、子ども向けのプログラミング教育だけで

インターネットの動画サイトなどを活用し、家庭にいながら動きを見てロボットの組

み立てやプログラム手法、ロボットの機能拡張の方法を学び、自らの成果を動画で発表できる仕組みなども用意する。AIは技術系や事務系の人材の派遣や人材教育などを手がける。2016年10月に新規事業開発プロジェクトとしてロボットコミュニケーションチームを立ち上げた。

なく、メーカーなどの企業や自治体での技術教育や、一般的なワークショップなどケース別にパッケージを用意する。AIが持つ人材教育のノウハウも活用。企業向けの展開はパートナー企業と進める。インターネットの動画サイトなどを活用し、家庭にいながら動きを見てロボットの組